

和歌山県連盟所属会会員の皆様へ

平素より本連盟の活動にご協力ご尽力いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年来流行の波を繰り返している新型コロナウイルス感染症ですが、現在は第5波と呼ばれる流行期に入り、東京都では2848名と過去最高（7月27日現在）の新規感染者数を記録、医療体制への大きな負荷が懸念される事態となっています。一方で、高齢者層を中心にワクチン接種が進むことで、感染や発症、重症化が抑えられる効果が出ているといわれています。また、登山を起因とする感染の報告は昨年テント泊が原因とされる件の他は確認されていません。

このような状況を受けて、県連盟常任理事会では新型コロナウイルス感染症対策として、以下のような呼びかけをすることにしました。

- ① 2021年6月の事務局長会議での以下の提起を継続する。
(なお、「宣言」等の発出状況に合わせて変更した部分もあり)
5月16日付「呼びかけ」のうち
 - 1 「登山計画を中止・延期を含めて再検討」については、コロナ対策をはじめ事故防止に努めて登山計画を実施することを呼びかける
 - 2 「緊急事態宣言（東京都・沖縄県）、まん延防止等重点措置（埼玉県・千葉県・神奈川県・大阪府）が出されている地域への登山は自粛」については継続
 - 3 「ガイドラインを基準に登山活動を」については継続

- ② 遠距離での道中（車中の密、休憩場所での接触など）、山小屋・テント場での行動に注意を払うことを呼びかける

以上です。新型コロナウイルス感染防止とともに、事故防止にも細心の注意を払って登山行動を行い、会員一人一人が安全登山を実践されることを心よりお願い申し上げます。

2021年7月27日

和歌山県勤労者山岳連盟 常任理事会

なお、登山者の減少で苦境に追い込まれている山小屋を支援する取り組みを長野県が行っています。県連ニュース7月号の最終面に掲載していますので、ご覧ください。

【資料】5月16日付「呼びかけ」

和歌山県の「県民の皆様へのお願い」および

政府の緊急事態宣言等の発出を受けて

－新型コロナウイルス感染に対する県連盟からの呼びかけ－

平素より本連盟の活動にご協力ご尽力いただき、誠にありがとうございます。さて、新型コロナウイルス感染症対策として、さる4月24日に和歌山県から「県民の皆様へのお願い」が出されました。また4月25日には政府から4都府県（東京・大阪・兵庫・京都）に緊急事態宣言が出されました。その後、緊急事態宣言は対象地域が拡大され、また「まん延防止等重点措置」地域も相次いで指定されています。これらを受けて、当面の登山活動について、以下の対応を和歌山県連盟として加盟各会に呼びかけます。

①和歌山県からの「5月31日までの不要不急の外出を控える」との「お願い」について

5月31日までの各会での登山計画を中止・延期を含め再検討を呼びかける。

これは感染力の高い変異ウイルスの拡大や和歌山県内の病床使用率が一時90%台となるなど以前になかった状況であることを踏まえたものである。

県連盟としては、登山行動全般は不要どころか私たちの生活に欠かすことのできないものだと考える。また、日々変化する風景や気候によって、山行がその時でなければということもあり、全て不急とすることもできないと考える。

その上で、今回の「お願い」や緊急事態宣言は、人の流れを抑えることで新型コロナウイルスの感染拡大を食い止める目的があることを重視したい。

については、新型コロナウイルス感染状況の変化や参加予定者の考えや気持ちなど多角的な視点から個々の山行計画を中止や延期を含めて再検討をお願いしたい。

なお、期日については和歌山県からの「お願い」にしたがって変更することを原則とする。

②緊急事態宣言および「まん延防止等重点措置」が出されている地域での登山活動について

自粛を呼びかける。

このことは、昨年5月に緊急事態宣言が和歌山県を含む一部地域で解除されたことを受けて同月14日に山岳4団体が出した声明に準じる。また、2021年2月の法改正で新設された「まん延防止等重点措置」地域での登山活動に対しても同様の呼びかけを行う。

なお、期日については宣言や措置が終わる日までを原則とする。また、新たな地域に宣言や措置が出された場合は同様の対応を取る。

5月16日時点

緊急事態宣言：北海道・東京都・愛知県・京都府・大阪府・兵庫県・岡山県・広島県・福岡県

まん延防止等重点措置：群馬県・埼玉県・千葉県・神奈川県・石川県・岐阜県・三重県・愛媛県
・熊本県・沖縄県

③新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下の登山活動について

2020年5月25日に山岳4団体が出したガイドラインを基準とすることを呼びかける。

ただし、ガイドライン中の「5. 登山中でもマスクを着用」については、登山行動中は体への負荷が大きいため県連盟としては推奨しない。なお、休憩時などの会話の際には着用を推奨する。

また、2020年4月26日に県連盟が出した「よびかけ」も指針としていただきたい。

以上、不十分な点もあると思いますが、各会の活動において上記の呼びかけを考慮いただければ幸いです。

新型コロナウイルスが認知されて1年以上たちますが収束時期はまだ見えません。一方でワクチン接種はだんだんと進みつつあります。また、コロナ禍の中での登山行動の経験を重ねる中で、必要かつ効果的な対策がわかってきています。取るべき行動をすることで安全安心な登山ができることは自明です。私達の自覚的な行動と協力によって登山行動を起因とする新型コロナ感染を出すことがないようにしましょう。

2021年5月16日

和歌山県勤労者山岳連盟 常任理事会